

利根川・荒川水系ダム・堰等機能の維持・改善に関する検討会 (第2回)の結果概要について

令和6年3月14日(木)に、水資源機構本社において、「利根川・荒川水系ダム・堰等機能の維持・改善に関する検討会(第2回)」を開催しました。

【検討会の概要】

1. 検討会の目的

ダム・堰等の長寿命化・高機能化にあたって、施設の老朽化に加え、首都直下地震等の切迫性、ダム貯水池への著しい堆砂などの顕在化している課題の整理・評価と優先すべき事案について、有識者から意見を聴取するものです。

2. 対象施設

利根川水系： 矢木沢ダム、奈良俣ダム、草木ダム、下久保ダム、
利根川河口堰、霞ヶ浦開発施設、武蔵水路
荒川水系： 滝沢ダム、浦山ダム

3. 委員等

委員長	清水 義彦	群馬大学大学院理工学府教授
委員	長岡 裕	東京都市大学建築都市デザイン学部教授
委員	高須 修二	元一般財団法人ダム技術センター顧問
「独立行政法人の評価等に関する外部有識者(国土交通省)」	田中 規夫	埼玉大学大学院理工学研究科教授

4. 審議事項

- ・ 水資源機構が管理するダム・堰等の顕在化している課題の整理・評価と優先すべき事案に関する事

5. 開催頻度：1回/3年程度

【第2回検討会結果概要】

- ・ 顕在化している課題の整理・評価と優先すべき事案について、有識者から意見を聴取し、事務局案が妥当である事を確認した。
- ・ 特に優先度が高い事案は、以下のとおり。
 - ・ 利根川河口堰(耐震性能不足、下流護床の洗堀)
 - ・ 下久保ダム(堆砂の進行)
- ・ その他、利根川・荒川水系の水機構ダムの堆砂状況、ゲート設備の維持管理状況について、機構より報告した。

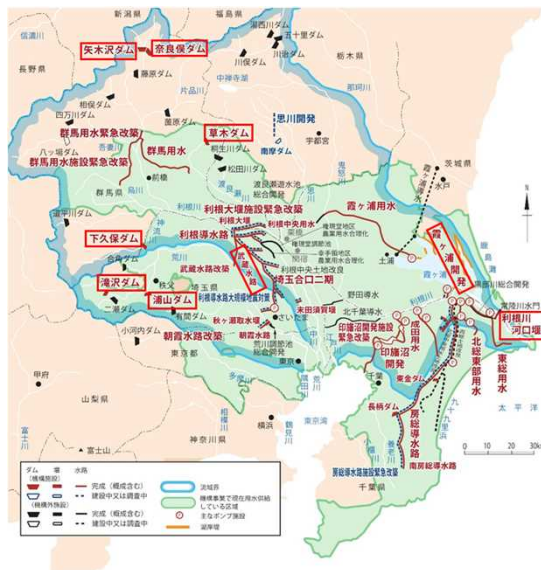
利根川・荒川水系ダム・堰等機能の維持・改善に関する検討会（第2回）の概要

1. 機能の維持・改善に関する検討会（第2回）

目的： ダム・堰等の長寿命化・高機能化にあたって、施設の老朽化に加え、首都直下地震等の切迫性、ダム貯水池への著しい堆砂などの顕在化している課題の整理・評価と優先すべき事案について、有識者から意見を聴取する。

審議事項： 水資源機構が管理するダム・堰等の顕在化している課題の整理・評価と優先すべき事案に関する事

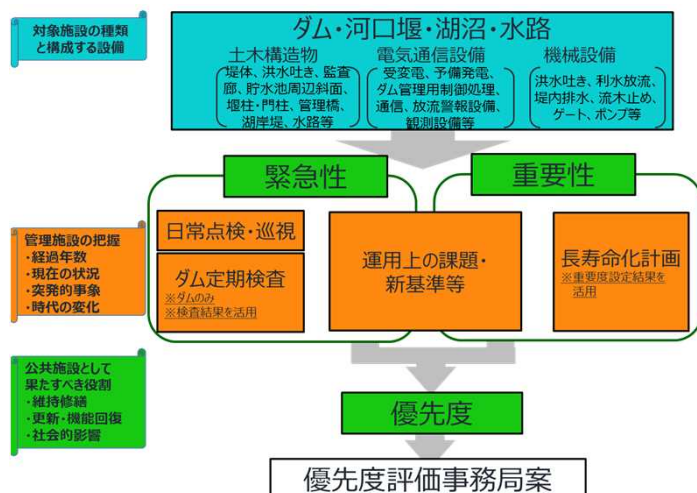
2. 対象施設



- 矢木沢ダム S42.10.1管理開始 (56年経過)
- 下久保ダム S44.1.1管理開始 (54年経過)
- 草木ダム S52.4.1管理開始 (46年経過)
- 奈良俣ダム H3.4.1管理開始 (32年経過)
- 浦山ダム H11.4.1管理開始 (24年経過)
- 滝沢ダム H20.4.1管理開始 (15年経過)
- 武威水路 S43.4.1管理開始 (55年経過)
- 利根川河口堰 S46.4.1管理開始 (52年経過)
- 霞ヶ浦開発 H8.4.1管理開始 (27年経過)

令和5年4月1日現在

3. 優先度評価の流れ



4. 緊急性の判定

(緊急性の判定区分) ダム定期検査における判定区分

判定区分		
緊急性大	a	ダムの安全性及び機能への影響が認められ、 直ちに措置 を講じる必要がある状態。
	b1	ダムの安全性及び機能は保持されていると判断されるものの、異状の兆候が認められることから、 速やかに措置 を講じる必要がある状態。
緊急性中	b2	ダムの安全性及び機能は保持されていると判断されるものの、挙動や劣化・損傷等の状態から、 必要に応じて措置 を講じる必要がある状態。
緊急性小	c	ダムの安全性及び機能に影響を及ぼすおそれがないと判断され、 状態監視 を継続することで良い状態。

5. 重要性の判定

(重要性の判定区分) 長寿命化計画における判定区分（土木建造物の例）

判定区分		
重要性大	管理レベル H	・「貯水機能」及び「洪水調節機能」を低下させる可能性のあるもの ・重要度の高い「利水機能」を低下させる可能性のあるもの
重要性中	管理レベル M	・「利水機能」の低下につながるもの
重要性小	管理レベル L	・何らかの変状が生じ、機能を失った場合、ダム管理者の業務に影響が生じるものの、「貯水機能」、「洪水調節機能」及び「利水機能」に直ちに影響を及ぼす恐れのないもの

6. 優先度（案）の考え方、優先度（案）

(ダム・河口堰・湖沼・水路)

- 緊急性及び重要性（大～小）の組合せにより優先度（案）を選定
- 優先度A（高）～優先度D（低）の4区分に分類

(優先度の判定区分)

(長寿命化計画での設定及び運用上の課題・新基準から判定)

		重要性 大	重要性 中	重要性 小
緊急性大	a	優先度A+	優先度B+	
	b1	優先度A	優先度B	
緊急性中	b2	優先度C	優先度D	
緊急性小	c			

(日常点検・巡視及びダム定期検査結果及び運用上の課題・新基準から判定)

- 顕在化している課題の整理・評価と優先すべき事案について、有識者から意見を聴取し、事務局案が妥当である事を確認した。特に優先度が高い事案は、以下のとおり。
- 利根川河口堰（耐震性能不足、下流護床の洗堀）
- 下久保ダム（堆砂の進行）

- 優先度A+とした、利根川河口堰の下流護床の洗堀、耐震性能不足について事業実施予定。優先度Aの下久保ダムの堆砂について、取水口の閉塞を防止する対策案について引き続き検討。中長期の堆砂に対しても対策の検討を進める。
- 優先度Cについても、引き続き傾向管理を行い必要に応じた対策を行う。